

学生×JICA『国際協力への一歩。』～地域でできること、世界からできること～

オンラインイベントを実施しました！（11月14日）

JICAインターンシップ・プログラム過年度参加者の、富山大学4年生の吉崎杏樹さん、金沢大学4年生の石黒歩さん、福井大学を昨年3月に卒業された八杉有飛さんの3名をパネリストとしてお招きし、オンラインイベントを開催しました。インターンでの成果や、今後のキャリアを始め、国際協力に関心を持ったきっかけや、学生の今だからこそ出来ることは何か、それぞれの想いを伺いました。参加した北陸3県の学生からは、「同じ世代の学生の活躍に刺激を受けた」「北陸の学生同士で学び合いたい」などの声があり、将来について考える機会となりました。



イベント参加者の様子

オンライン出前講座～取組み紹介～

通常JICA国際協力出前講座は、依頼元の学校や団体へ直接行きJICA海外協力隊の体験談や国際協力に係る講座をさせて頂いております。新型コロナウィルスの感染拡大予防のため、要望に合わせオンラインでも出前講座をおこなっています。

JICA出前講座で検索！



学生主体団体の探求の場として

9月11日に福井県内の大学生が中心となり、高校生の探究学習をサポートしている団体『BEAU(ビュー)』が実施している国際問題ラボの第3期のオンライン説明会にて、福井県の竹本国際協力推進員が出前講座を実施しました！

講座ではSDGsにふれながら、青年海外協力隊として活動していたセネガルで向き合った課題を紹介しました。

ワークショップの中ではSDGsのゴール同士が相互に影響を与え合っていることや、日本でも同じような問題が起こっていることなどにも気づきがあった学生さんがいました。また今、自分たちにどんなことが出来るか具体的なアイデアを出し合いました。



参加者の皆さんと竹本推進員

海外研修の代替として

石川県立金沢泉丘高等学校では例年2年生を対象に海外研修を実施しているそうです。しかし、今年度はコロナの影響で中止となり、「こういった環境下でも生徒さんに学ぶ機会を提供したい」という先生の想いから、同校卒業生で、現在JICAカンボジア事務所の徳川詩織さんとZOOMでの交流会が10月20日に行なわれました。現地スタッフから英語でカンボジアの紹介と、徳川さんからは学生時代のお話や、JICAで実際に行なっている業務の紹介がありました。参加された生徒さんからは、徳川さんの話を聞いて「対等な立場から現地の人の声を聴き尊重することが大切ということが印象的だった」などの声がありました。



カンボジアの徳川所に質問をする生徒さん

JICA海外協力隊の体験談を聞く機会として

7月17日に富山国際大学でJICA海外協力隊OGの浜咲季子さんがオンライン出前講座をしました！ゴミのポイ捨て問題に対し「教育」という切り口で、児童や生徒だけでなく、同僚の教員にも指導することで持続可能な活動につなげようという取り組みの経験について紹介してくれました。浜さんは活動を通じ「主役はラオス人であり、彼らの選択肢を増やしてあげることが重要だと気が付いた」と話しをしてくれ、学生からは「海外での活動は大変で難しい一方で、それ以上に新しいことや現地ではしか味わえないことに自分も出かけてみたいと思った」とコメントがありました。



青年海外協力隊経験を発表する浜さん

JICA北陸 新スタッフ紹介 — NEW STAFF —



佐々木 十一郎 さん (民間連携事業・草の根技術協力事業・広報担当)

ベトナム貿易大学日本人材開発センターにJICA専門家として3年勤務し2020年10月に帰国しました。JICAでは長年、農林水産や研修事業を専門とし、海外ではパプアニューギニア、マレーシア、フィジーに勤務してまいりました。今回、初めて故郷の北陸で働くことができ大変うれしく思っております。コロナ禍で世の中の常識が変化中、JICAの仕事を通じて、北陸と世界の人々のため微力ながら全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



独立行政法人 国際協力機構 北陸センター(JICA 北陸)
〒920-0853 石川県金沢市本町 1-5-2 リファール(オフィス棟)4階
TEL 076-233-5931 FAX 076-233-5959
JICA 北陸ウェブサイト <http://www.jica.go.jp/hokuriku/>

Find us on

JICA 北陸



ここからアクセスしてね！



古紙/パルプ配合率90%再生紙を使用



新春 鼎談

中小機構 北陸本部 × ジェトロ金沢 × JICA北陸

北陸での民間企業の海外展開を支援する3つの支援機関による新春鼎談を行いました。3機関は、石川県で「いしかわ海外展開サポート“かがやき”」、富山県で「チーム“海外展開サポートとやま”」のメンバーとして、連携をして民間企業の海外展開を支援してきています。そして、ジェトロとJICAは2018年7月に連携覚書を締結、中小機構とJICAは2020年6月に連携の覚書を締結し、更なる連携の強化を図っているところです。

今回は、新年にあたり、コロナ禍も含めたこれまでの支援や協力関係を振り返り、そして今後の支援について決意を新たにしました。

鼎談者
独立行政法人中小企業基盤整備機構 北陸本部 本部長 高橋 浩樹 氏
独立行政法人日本貿易振興機構 金沢貿易情報センター 所長 唐津 康次 氏
独立行政法人国際協力機構 北陸センター 所長 菊地 和彦 氏

菊地：新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスという世界中の人々に大きな影響を及ぼす事態が発生しました。新年にあたり、コロナを乗り越え民間企業のみならず海外で活躍いただけるように支援機関同士ががんばっていききたいと思います。

民間企業への支援機関同士の連携について

高橋本部長：覚書はジェトロと中小機構も2012年8月に締結していて、3者の連携関係が整っています。各機関は限られた資源や人材で支援を行っているため、連携していくことは非常に重要です。地域の支援機関も一緒になって連携することで支援の輪が広がって、企業の方々にとってもメリットを生んでいると思います。

唐津所長：2020年8月に着任以来、「かがやき」の会合に参加して感じるのは、「餅は餅屋」ということ。それぞれ得意分野や逆にできない支援があります。相談を受けた際に各得意分野をもつ他機関をスムーズにご紹介できることが大きなメリットですね。

菊地：全国でもこれだけの密な連携を図れている地域はほかにないと思います。日本を代表する支援機関の枠組みであり、機能ですからこれを大切に、発展させていきたいですね。

JICAとの連携について

唐津所長：小松市の株式会社北菱さんは、2017年から「新輸出大国コンソーシアム」という枠組みでサポートする中、JICAの事業も活用してマレーシアで展開されています。こうした海外の社会課題解決型ビジネスに挑戦する企業にご協力できるのは嬉しいことです。

高橋本部長：JICAとは常日頃連携をして業務をしていますが、最近も福井県の企業を紹介いただき、海外展開に向けたビジネスプランの策定を支援させていただいています。中小機構は国内の経営支援が中心であり、JICAの事業を実施いただいている企業への国内での経営強化の視点での支援でも連携できます。また、北陸ではSDGs 未来都市に選定されている自治体もありますね。一方、SDGsへの取り組みについては、関心はあっても実際にどのように取り組めばいいか悩まれている企業の方も少なくないと感じています。JICAは途上国への取り組みがSDGsへの取り組みとなっているので、今後一緒に取り組んでいきましょう。

唐津所長・菊地：SDGsの取り組みという観点ではまだまだ緒についたばかりなので、協力あって自治体、企業等へのアプローチをしていきたいですね。

コロナ禍における企業への支援

高橋本部長：コロナ禍にあっては、2020年5月にテレワークに関するセミナーを実施するなど、オンラインによる支援が中心でした。手探りで始めました



中小機構 についての情報はこちら ジェトロに についての情報はこちら

が、東京在住の専門家によるオンラインでのアドバイスなど、オンラインならではの支援も実施できるようになってきました。実は、コロナ禍にあっても昨年比で去年は相談件数が増えているんです。こんな時期だから海外への取り組みを検討していきたいという企業さんが増えていることに勇気づけられています。そうした企業の方々に支援していきたいと思っています。

唐津所長：ジェトロでも、販路を絶たれた企業の切実な声をお聞きします。コロナ禍で、海外の見本市への出展や海外バイヤーの招聘ができず、商談やセミナーなどは多くがオンラインでの実施となりました。時差の問題、サンプルなど実物を共有できないなど問題はまだまだあります。一方で、能登の地域の企業の方からオンラインだから参加できたという声もあり、できることに目を向け全力でサポートしていきたいと思っています。

菊地：JICAは新型コロナウイルス対策に関しての支援を推進していきます。予防、治療、研究において医療従事者の人材育成や設備等の拡充などを行っていき開発途上国の新型コロナウイルス対策に寄与したいと思っています。保健医療分野、手洗い・きれいな水の供給などの衛生面の改善、仕切りなどの感染対策など含め新型コロナウイルス対策についてノウハウを持つ企業様についても情報交換させてください。

唐津所長：コロナ対策に日本の技術が活かされ、ビジネスにつながっていけば非常に良いですね。

2021年の抱負と企業へのメッセージ

唐津所長：なかなか情勢が見通せない中ですが、やはりリアルな取り組みは大事だと思っています。人の往来を伴う事業を是非、適切に実施していきたいです。企業様へのメッセージはわたし自身へのメッセージでもありますが、「コロナに負けない」「海外を諦めない」という強い気持ちをもって2021年も臨んでいきたいと思っています。

高橋本部長：変えられないことを嘆くよりも自分たちができることに注力して企業の方々のサポートを進めていきたいですね。迷っていることがある企業がいらっしゃれば、JICA、ジェトロ、中小機構のいずれかにお気軽にぜひ相談してほしいと思います。「餅は餅屋」ですから、3機関が連携をしながら対応していきたいですね。

菊地：今日皆さんとお話して、支援機関連携がさらに深まり、企業への支援を通じて地域貢献をさらに深められることになると確信しました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。高橋本部長、唐津所長、本日はありがとうございました。

本鼎談の全文は、「JICA北陸ウェブサイト トピックス」で掲載いたしますので、ぜひご覧ください。